

平成 29 年度技能伝承に取り組む企業の好事例発表及び意見交換会について
(ITを活用した生産性向上の取組みを実施する企業の好事例発表及び意見
交換会と同時開催)

1. 日 時 平成 29 年 10 月 20 日 (金) 13:30~16:00

2. 会 場 四日市市橋北交流会館 3 階 第 3 会議室

3. 参加者企業・団体

富士電機株式会社 鈴鹿工場

ヤマザキマザックマニュファクチャリング株式会社 精工製作所

杉野工業株式会社

有限会社 ベスポ

富士電機株式会社 三重工場 生産技術センター 四日市窓口

K&We ニシゾノ企画

一般社団法人 三重県技能士会

三重県職業能力開発協会

三重県技能振興コーナー

参加者 12 名

4. 技能伝承に取り組む企業の好事例発表

好事例発表① 富士電機株式会社 鈴鹿工場 成田憲彦様 山下裕之様

※発表内容

- ・ 設備技術センターにて 1 年間教育 (①技能・技術の育成②設備製作③生産技術開発)
- ・ 技能教育 (人財育成、人間性創成のため集中教育→コミュニケーションUP)

※質疑応答

- ・ 1 年間の研修において、1 年間ですべての事を教育して適性を判断するのか?→
入社時点で希望を聞いて配属先を決定する。
機械科・電気科等で、教育講座を決定 (1 年間の教育を経て各工場に適正配属)
- ・ 教育のカリキュラムはどのような方法で実施するのか?→高校の延長のようなもの
(各 1 限毎に区切って実施)

好事例発表② ヤマザキマザック マニユファクチャリング株式会社
精工製作所
黒木房雄様 水谷文哉様

※発表内容

- ・マザック技能道場（12講座）新人・中堅社員を教育（AM座学、PM実技）
- ・キサゲ技能の伝承
- ・技能者→指導員→現代の名工→褒章へとスキルアップ

※質疑応答

- ・キサゲ作業、1人前になるのはどれぐらいかかるか？→5年ぐらいはかかるが、今は機械加工でキサゲ並みの精度を確保できるので、技能伝承としてキサゲ作業を指導している。
- 機械の仕様、生産の仕組が変ってきているので、今は摺動面にキサゲをしない

好事例発表③ K & We ニシゾノ企画
西園賢治様（ITマスター）

※発表内容

- ・情報システムのマスター鮮度管理（マスターの不備→計画の低下→手作業が増える）
- ・マスターの精度は何時も変化する→4M変更・何かが変われば変更が必要

※質疑応答

- ・マスターデータを管理している企業は多いが、実践できている企業は少ないと思う。どうすれば管理できるか？→企業活動を継続する上で欠かせない物管理している人が大変、経営者によって変わる（経営者の考え方を変えることが重要）

好事例発表④ 富士電機株式会社三重工場生産技術センター四日市窓口
小澤二二男様（ものづくりマイスター）

※発表内容

- ・技能伝承教育と効果
- 事例1：企業内技能伝承教育（コアー技能者の育成）
- 事例2：工業高校によるモノづくり講座
- 事例3：中小企業向け管理・監督者育成講座（3現主義（現場・現物・現実））

※質疑応答

- ・技能検定、社内認定制度、どちらにウエイトを置くべきか、どちらが良いか？→企業によって違う（トヨタ・ホンダは検定受けない）技能伝承には幅広い知識を身につけたリーダーを育成する事が重要

5. 意見交換（全体討議）

- ・技能検定受験者が増えると自然と技能伝承に繋がる
検定練習を行っている周りからの目が有り、目の行き届いている所で練習すると他の人も気になって、その人も受けてみようと言う気になる
- ・技能検定を通じて技能伝承できる人を育てる
- ・検定受験で幅広い知識を養い、リーダーを育成する
- ・「ものづくりマイスター」を活用してリーダーを育成する
（深い穴は広い入口がないと掘れない）
- ・一流の技能者育成方針→5Sの効いた人づくり（心身を鍛え自分に負けない人づくり）
- ・人づくり、ものづくりが有って技能アップ
- ・部品加工の内製化を進めるため、機械加工・仕上げ加工のマイスターを活用して技能アップを行っている
- ・勝ち残り、生き残りのため、技能伝承は絶対必要

- ・生産管理システムが機能しない時はマスター管理が悪い
情報は古くなっていないか（情報は新しいほど良い）
マスターをコントロール（マスターの元を直す） マスターを直さず計画を直す（ダメ）
タイムリーなマスター管理が必要
- ・IoTを活用して生産管理、在庫管理、部品管理を行って無駄をなくす
個人レベルからグループレベルでの業務管理（情報の共有化・見える化・デジタル化）
（ITマスターを活用する）
- ・作業標準書をIoT化（モニター化）する、暗黙知をデジタル化する事
（ものづくりマイスターが生産性向上に取り組むため指導する）
ヤスリ・キサゲの3D化→両手、両足の力の入れ具合を3D化したら面白い
- ・人が考えた事をコンピューターのマスターとして管理する事で、生産性アップに繋がる
マスター鮮度管理とは、人+自動化システム
- ・若い内に色々な体験をさせ進路を決めさす
小中学校時代にプログラミングを教える
高校になってIT関連のどこに行くかを決める

6. ものづくりマイスターがITを活用して生産性向上等に資する実技指導を行った事例

- ・マシニングセンター、NC旋盤プログラミングによる加工合理化

7. 全体総括

- ・IT化を、大中小企業に取り入れる事で、これから得られるものが有れば、企業よりITへの問合せ3、ITから企業への指導を行い、生産性アップ・加工合理化を推進
- ・ものづくりマイスター、ITマスターを有効に活用して技能伝承・効率アップに取り組み技能伝承できるリーダーを育成する